
学友同窓会報

第16号

平成18年3月7日発行

北海道千歳リハビリテーション学院

学友同窓会 会長 佐藤一成

編集 学友同窓会広報局

Email: dousokai@chitose-reha.ac.jp

URL: <http://www.chitose-reha.ac.jp/dousou/>

10年を回顧して、これからの展望する。

学院長 山本克郎

昨年9月学院創設10周年記念を祝うことが出来た。この春学院長を退任する。就任から10年になるが、今振り返るとあっという間に過ぎ去った10年であり、充実した10年でもあった。平成8年に誕生したばかりの学校づくりを任された。早速全学集会を開いて学生諸君に「楽しく勉強する学校にしよう」と抱負を述べたが、問題はそう簡単ではなかった。

一番厳しいのは専任教員、実習施設などの不足でこれを確保することは急務だった。また、低い知名度をどう高め、入学者をどうして集めるか等々学校としての形と内容を整えるための難題が山積していた。

同時に理学療法学科定員40名のみでは教育環境を充実整備するのは不可能に近いから一年でも早く作業療法学科の開設が必要だった。需給予測が立っていないと北海道・厚生省は難色を示したが、増設の必要性を説いて難関を突破した。

OT学科増設の校舎増築工事で、指定規則にない視聴覚室やCPU室を設け、PCを導入するなど教育環境の一新を図ることができた。OT学科はスタートしたが、定員20名では経営維持は困難だったから施設・設備を活用して東北北海道唯一の夜間部PT学科OT学科を開設した。こうして完成年度の総定員450名、学院の教育・経営の基盤を据えた。

「建学の精神」と「教育の目標」は平成10年に定めたが、実践するためにはその理念の下に集まる教員スタッフの質・量とチームワークが必要である。それに共感して入学する学生諸君がいなければならない。意欲に燃える優れた教員やセラピストを志す意欲の高

い学生をどう集めるかの課題に挑戦した。

よいセラピストは単なる知識や技術の伝授では育たない。「仕事に喜びと誇りを持って生きるセラピスト」を養成しようと考えれば医療専門職の基層となる人間性の陶冶が問題であり、「教養」を高める環境と体制が重要となる。そこで「志の教育」を提唱し、地湧社から「先生が燃え学生が燃えて学校がある」を公刊して、学院の教育を方向付けた。年々教育水準が向上し、学院の知名度と社会的評価は高くなった。それは教職員・学生諸君の努力と研鑽の賜であり、感謝に堪えない。

しかし、この数年来 PT、OT の養成が急激に増加し、数年後は過剰が予測される。学院や諸君達の将来を考えると安閑としていられず、苦渋の決断で夜間部の募集停止、昼間部間口増に踏み切った。10年の節目に今後10年の社会変化を予測し、学院の将来像を描いて5カ年計画を策定して、学院の航海に必要な海図と羅針盤を準備した。

目前に迫る超高齢社会の現実を予測し、これに貢献するセラピスト養成課題は、生涯学習実現の実現に向けて卒後の臨床研修を確立する。平成17年度文科省の専門学校教育重点支援プラン「医療技術者の卒後教育を実現する臨床研修専攻科モデル事業」に採択され、この調査研究結果を踏まえて平成18年4月、「臨床研修専攻科」を開設する。

本邦初のITを活用した通信制教育は現場で活躍するために有益な役割を果たし、学院卒業生の社会的な評価を一層高めたい。

わが国医療は今大きな転換点に立っており、今後急速な変化を遂げ、キュアからケアへ変容するであろうが、リハビリテーションの世界もこれまでの医療モデルに加えて、介護モデルのリハビリテーションが広がっていく。診療の補助とされてきた枠組みも変化していく。医療も治療偏重から、保健予防、リハビリテーションの比重が増加し、保健や福祉との連携が進んで、介護福祉や保健予防の分野で療法士の活躍が期待される。

職域の拡大は同時に新しい技術と知識の習得を必要とする。PTは生活習慣病の予防や治療、更に健康増進などで、OTは精神科領域の地域リハビリテーション、認知症の予防治療等新しい広い分野でのニーズが広がっていくものと私は予測している。これと並行してPTもOTも有効な新しい療法の研究開発とそのEBMが求められるであろう。

学院は常に卒業生諸君の母艦として社会的存在する意味のある学院を目指して欲しい。

諸君に続く後輩の指導をお願いし、同窓生諸君のご健康とご活躍を祈って止まない。



編集後記

第8回臨床教育研究会が4月8日に開催されます。同時に総会も行いますので、多数の参加をお願いします。

同窓会役員に参加希望の方、大歓迎ですので、同窓会宛にメールをいただければ幸いです。

今後、学友同窓会ホームページを更新していきたいので、コンピューターに詳しい方や興味のある方は、ぜひ宜しくお願いします。

次回の会報は、7月頃を予定しています。会員の皆さんの声も反映させた会報作りをしたいと思っています。意見・感想・要望等ありましたら、同窓会宛にメールをいただければ幸いです。